

洪水・土砂災害ハザードマップ

【発行】下松市役所防災危機管理課 〒744-8585 山口県下松市大手町3-3-3 ☎ 0833-45-1700 (代表)

このハザードマップは、下松市で想定される最大規模の大雨によって発生する災害について住民の皆さまに知っていただき、日頃の備えやもしものときの避難行動に活用していただくために作成したものです。



下松市公式マスコットキャラクター「くだまろ」

マイ・タイムラインを作ろう

水害や土砂災害の危険があるときは、市から警戒レベル3「高齢者等避難」、警戒レベル4「避難指示」などの避難情報を発令します。避難情報に合わせて、速やかに安全な場所へ避難しましょう。また、事前にとるべき行動を書き出して、マイタイムラインを作成してみましょう。

自宅の危険度 ハザードマップで調べた自宅の危険度などを記入しておきましょう。

洪水浸水予想	土砂災害警戒区域	地震の揺れやすさ	津波浸水予想	わが家の避難場所
m	内 外	危険度	m	
警戒レベル	1 2 3 4 5			
避難情報		高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
気象情報	早期注意情報	洪水注意報 大雨注意報	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 大雨特別警報
すべきか考えを記入しよう	例えば 災害情報を収集			

日頃からの備え

非常持ち出し品の準備

いざというときには、ただちに避難しなければなりません。そのようなときに備えて、非常持ち出し品を常備しておきましょう。

避難のとき、両手が自由に使えるようにリュックサックなどにまとめましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) <input type="checkbox"/> 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) <input type="checkbox"/> 乾パン	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、ばんそうこう <input type="checkbox"/> 傷薬、消毒薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> 手指消毒液	<input type="checkbox"/> 現金(小銭) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証など(本人確認できるもの)
衣類など	日用品など	
<input type="checkbox"/> 衣類(厚手の物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋) <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> ナイス、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池) <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー)	<input type="checkbox"/> 筆記用具(油性マジック) <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 地図(ハザードマップ)
家庭により必要なもの		
<input type="checkbox"/> 粉ミルクと哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 持病がある方の薬 <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品		

備蓄品の準備

避難生活に備えて、日頃から、7日分の食料と飲料水を備蓄品として常備しましょう。

食料	燃料・日用品など
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットルを目安) <input type="checkbox"/> 米(缶詰やレトルトのご飯なども便利) <input type="checkbox"/> 缶詰や菓子類 <input type="checkbox"/> 粉ミルク・離乳食	<input type="checkbox"/> カセットコンロ <input type="checkbox"/> 予備のガスボンベ <input type="checkbox"/> 毛布または寝袋 <input type="checkbox"/> ブルーシート <input type="checkbox"/> 割り箸 <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> 布製ガムテープ <input type="checkbox"/> キッチン用ラップ <input type="checkbox"/> なべ

備蓄・消費・補充を繰り返す

ローリングストック(循環備蓄)を心がけましょう

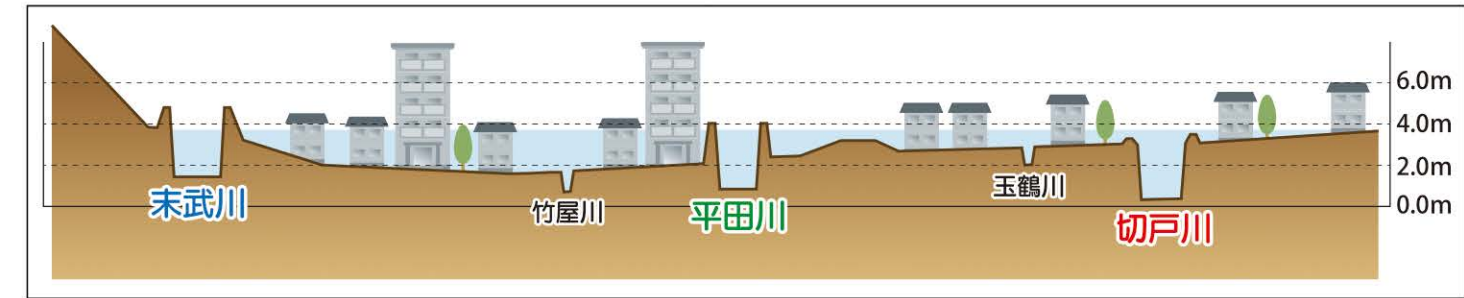
ローリングストック(循環備蓄)とは、普段から使用する食材、加工品を多めに買って置き、使ったら使った分だけ買い足していくことで、常に一定量の食料を家庭に備蓄しておく方法のことを言います。この備蓄方法を行うことで、いざというときも日常生活に近い生活を送ることができます。



下松市で起きる災害

下松市の地形

下松市の市街地は、切戸川、平田川、末武川の洪水時の水位よりも低いところに位置するため、ひとたび河川が溢れたり、堤防が決壊したりすると、大きな被害に見舞われます。



下松市の過去の災害

水害や土砂災害は下松市でも発生します。近年では、平成16年や平成17年、平成21年には洪水被害が発生し、平成30年には道路や鉄道が寸断される土砂災害が発生しました。これまでの災害をしっかりと記憶にとどめ、日頃からの備えを十分にしておきましょう。

平成16年8月(台風16号)	平成17年7月(梅雨前線)
 平田川(あけぼの町地区)	 切戸川(出合地区)
 大河内地区	 切戸川(穂ノ上地区)
 切戸川	 国道188号 市道瀬戸線

土砂災害の種類と前兆現象

※下記のような現象が前兆現象のすべてではありません。また、前兆現象がない場合でも土砂災害が発生することもあります。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)	土石流	地すべり
<p>中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。</p> <p>土砂災害特別警戒区域</p>	<p>長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。</p> <p>土砂災害特別警戒区域</p>	<p>大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわりたりゆったりと動きだすものをいいます。</p> <p>土砂災害警戒区域</p>
<p>こんな前兆現象に要注意!!</p> <p>斜面にひび割れができる。 わき水の量が増える。 がけに亀裂が入ったり、小石が落ちてくる。</p>	<p>こんな前兆現象に要注意!!</p> <p>雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。 地鳴りの音が聞こえてくる。 川が濁ったり、流木がまぎらじめる。</p>	<p>こんな前兆現象に要注意!!</p> <p>がけから出る水がにこる。 地面にひび割れができる。 斜面から水が噴き出る。</p>

土砂災害警戒情報

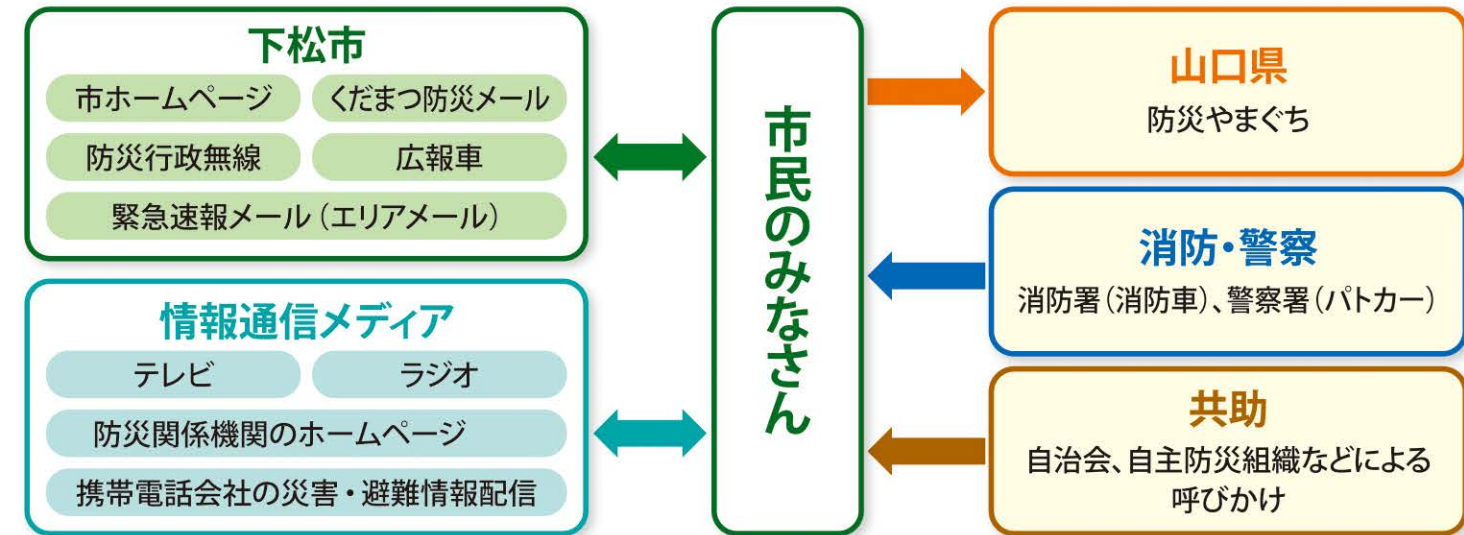
土砂災害警戒情報は、大雨警報の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、山口県と下松市が共同で発表する情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、市からの情報を入手して避難してください。また、土砂災害警戒区域内にいる場合は、ただちに避難してください。土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報などにも十分注意しながら、早めの避難を心がけてください。



災害時の情報

避難情報の入手経路

災害が発生し、または発生する恐れがある場合、市は避難情報を発令します。災害情報や気象情報はテレビやラジオ、ホームページ等で確認できるので、日頃から情報を入手して確認するようにしましょう。



防災情報・災害情報の入手先

防災情報や災害情報は、以下の方法で入手することができます。

くだまつ防災メール(配信サービス)	下松市 電話応答サービス
<p>気象情報や防災情報をメールで一斉配信しています。</p> <p>【登録方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 下記登録用メールアドレスに、件名・本文を入力せずにメールを送信 返信メールに記載されたアドレス(URL)へ、インターネット接続 登録画面にて必要な情報を入力し「確認」ボタン 確認画面にて内容を確認し「登録」ボタン 登録完了 <p>〈登録用〉e-kudamatsu@xpressmail.jp</p>	<p>防災行政無線の放送内容を聞くことができます。</p> <p>電話番号: 0833-48-5007 (自動音声案内)</p> <p>※通話料金はご利用される方の負担になります。</p>
<p>防災やまぐち</p> <p>山口県の防災情報ポータルサイトで、県内の災害情報、気象情報等を確認することができます。</p>	<p>下松市 防災ラジオ</p> <p>災害時などに自動起動し、最大音量で市や国からの緊急放送が流れるラジオです。市では防災ラジオの有償譲渡を行っていますので、希望される方は防災危機管理課までご連絡ください。</p>

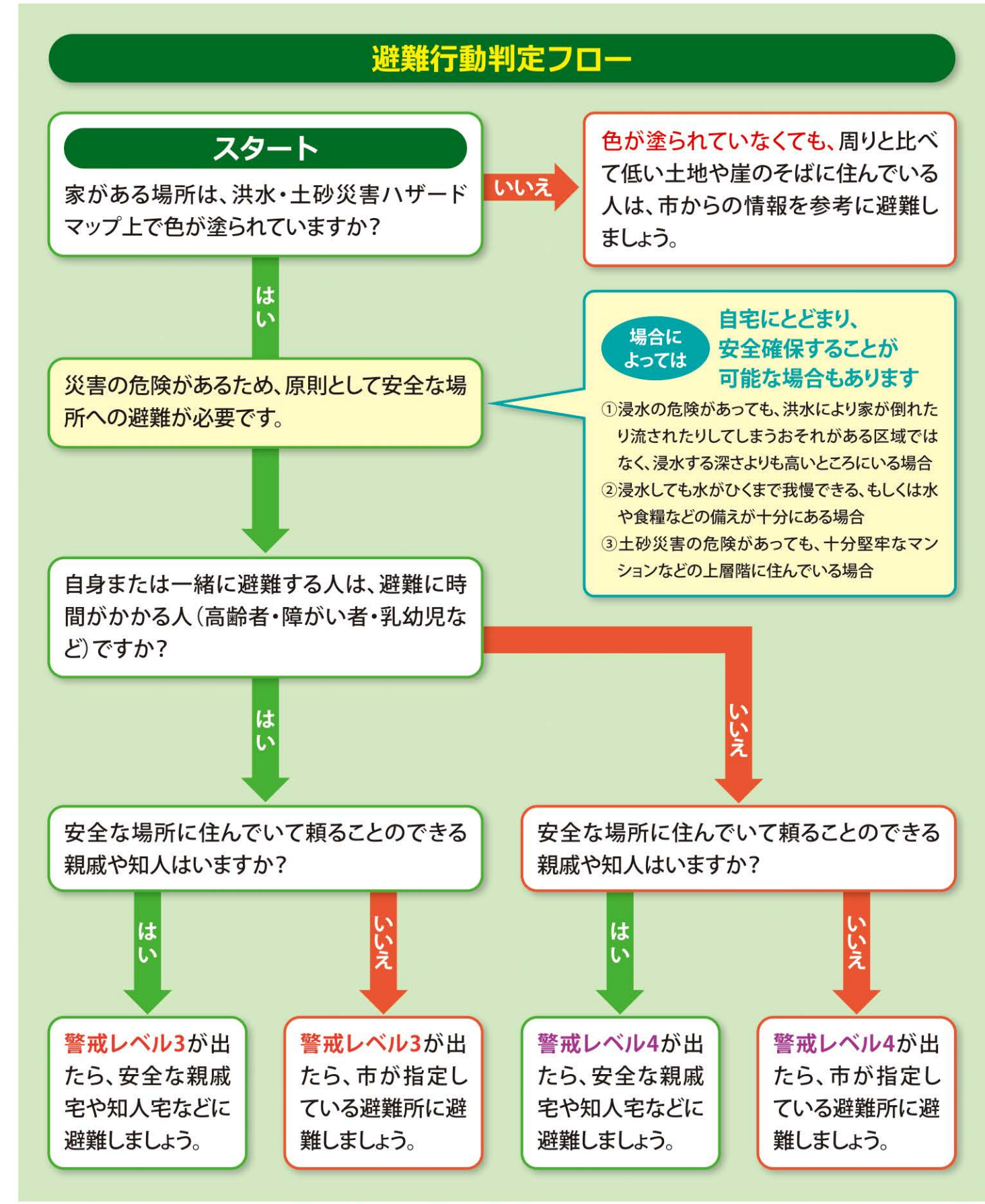
防災関連機関の連絡先

名称	電話番号	内容
消防署	119	救助・救急の要請
警察署	110	事件・事故
土木課	45-1850	土のうの支給・用具の貸出し、道路・河川・橋・海岸の被害通報
農林水産課	45-1845	ため池・水路・農道の被害通報
防災危機管理課	45-1832	避難所の開設状況、災害・防災に関すること

避難する際に知っておくべきこと

避難行動判定フロー

台風や豪雨時にあわてずに避難をするためには、日頃から、周囲の災害リスクを把握し、いつ、どのような避難行動を取るべきか、事前に考えておくことが大切です。台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう。



避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

<p>状況により、すばやく避難しましょう</p> <p>避難情報などが発表されていない場合でも、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。</p>	<p>家族には連絡メモを残そう</p> <p>外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておく良いでしょう。</p>
<p>防災メモを持とう</p> <p>高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。</p>	<p>集団で助け合おう</p> <p>単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。</p>
<p>車での避難は控えて</p> <p>車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。</p>	<p>安全なルートで避難</p> <p>避難所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。</p>

避難行動要支援者について

高齢者、障がい者、乳幼児等の特に配慮を要する方(要配慮者)のうち、災害発生時に自ら避難することが困難で支援が必要な方を、避難行動要支援者といいます。避難が必要となった場合は、地域で協力しあいが、近所の高齢者、障がいのある方などの安否確認、避難所への移動を支援しましょう。

地域ぐるみで支援しましょう	
<p>高齢者・病人</p> <ul style="list-style-type: none"> おぶって安全な場所まで避難する。 複数の介助者に対応する。 	<p>目の不自由な方</p> <ul style="list-style-type: none"> 声をかけ情報を伝える。 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つくらい、半歩手をゆったり歩く。
<p>肢体の不自由な方(車椅子)</p> <ul style="list-style-type: none"> 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。 	<p>耳の不自由な方</p> <ul style="list-style-type: none"> 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

立ち退き避難と屋内安全確保

避難行動では、災害が発生する前に浸水想定区域、土砂災害の危険性がある場所から避難する「立ち退き避難」が基本です。しかし、すでに危険が迫っている、「立ち退き避難」を行う余裕がないなどの場合は、「屋内安全確保」を行います。



風水害に備えて

風水害への備え

台風や大雨などによる被害を最小限にとどめるために、日頃から家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な風水害対策を講じておきましょう。

<p>外壁</p> <ul style="list-style-type: none"> 亀裂はありませんか 	<p>屋根・雨どい</p> <ul style="list-style-type: none"> 不安定なアンテナはありませんか トタンがめくけていませんか 瓦のひび・割れははがれはありませんか 雨どいにごみや木の葉は溜まっていませんか
<p>ベランダ</p> <ul style="list-style-type: none"> 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか 	<p>排水溝</p> <ul style="list-style-type: none"> 側溝や雨水ますにごみや土砂はありますか
<p>ブロック</p> <ul style="list-style-type: none"> 傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか 	<p>窓</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓枠のがたつきはありませんか 雨戸にがたつきはありませんか
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ガスボンベ(プロパンガス等)は固定されていますか 商店などでは看板のぐらつきはありませんか ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか 庭木には添え木をしていますか 窓ガラスが飛散しないよう対策をしていますか 	